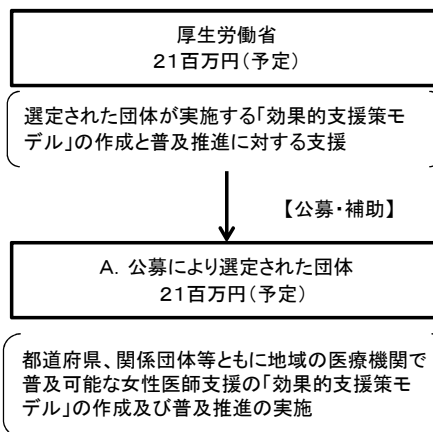


平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名		女性医師キャリア支援モデル普及推進事業		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	医事課		課長：渡邊 真俊	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-2-1 今後の医療需要に見合った医療従事者の確保を図ること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策	女性活躍			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	女性がキャリアと家庭を両立できるよう、女性医師支援の先駆的な取組を行う医療機関を「女性医師等キャリア支援モデル推進医療機関」として選定し、効果的な取組を地域の他医療機関に普及するための経費を支援することで全国の医療機関の支援策の充実を図り、女性医師の離職防止や再就業を促進し、もって医師確保対策に資することを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	以下の事業を実施する。 ・女性医師キャリア支援モデル普及推進事業…地域の医療機関に普及可能な効果的支援策モデルの構築及び普及推進 ・女性医師のさらなる活躍を応援するシンポジウム…女性医師等キャリア支援モデル推進医療機関の活動を全国に発信、女性医師が活躍できる環境整備のあり方について検討 ・女性医師キャリア支援モデル普及推進事業に関する評価会議…女性医師等キャリア支援モデル推進医療機関の選定及び評価を実施							
実施方法	直接実施、委託・請負							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	21	38	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	0	0	0	21	38	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	実施団体数を2団体とすること(27年度目標値「検討中」)	実施団体数(27年度目標値「検討中」)	成果実績		-	-	-	
			目標値		-	-	-	2
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	効果的支援モデル事業に基づく事業実施件数(27年度当初見込「検討中」)	活動実績	件	-	-	-		
		当初見込み	件	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	シンポジウム参加者人数(27年度当初見込「検討中」)	活動実績	人	-	-	-		
		当初見込み	人	-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト X:執行額 Y:事業実施件数 (事業実施件数が「検討中」あるため、27年度見込みは未定。)		計算式	/	-	-	-	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0	0	「新しい日本のための優先課題推進枠」38補助先の箇所数増(2から4)				
	委員等旅費	1	1					
	庁費	0	0					
	衛生関係指導者養成等委託費	20	37					
	計	21	38					

事業所管部局による点検・改善											
項目		評価	評価に関する説明								
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	年々女性医師の割合が増えている状況の中で、女性医師が結婚、出産、子育てなど、様々なライフステージに応じて就業できる環境作りは、医師確保の一環として求められている。								
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	女性医師支援事業のうち、特に効果的な取り組みについて、地域に普及することをモデル的に行うものであり、引き続き、国が実施すべき事業である。								
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	年々女性医師の割合が増えている状況の中で、女性医師が結婚、出産、子育てなど、様々なライフステージに応じて就業できる環境作りは、医師確保の一環として優先度が高い事業である。								
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-								
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-								
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-								
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-								
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-								
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-								
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	-	-								
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	-	-								
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-								
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-								
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-								
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所管府省・部局名</th> <th>事業番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	所管府省・部局名	事業番号	事業名	-	-	-	-	-	-	
所管府省・部局名	事業番号	事業名									
-	-	-									
-	-	-									
点検・改善結果	点検結果	-									
	改善の方向性	-									
外部有識者の所見											
点検対象外											
行政事業レビュー推進チームの所見											
現状通り	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。										
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況											
現状通り											
備考											
関連する過去のレビューシートの事業番号											
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-						
平成25年度	-	平成26年度	-								

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					